

小委員会の調査報告書

教科名	保健体育科	委員長名 谷内 則幸
調査研究の経過	<p>1 審議の概要</p> <p>(1) 第1回調査委員会を7月2日(木)に、稚内市役所正庁で開催し、保健体育小委員会の委員長並びに副委員長を選出するとともに、調査研究の進め方等について確認した。</p> <p>(2) 7月3日(金)から7月14日(火)まで、「教科書見本本」、「教科書編修趣意書」、「採択参考資料」をもとに、調査研究を進めた。</p> <p>(3) 第2回調査委員会を7月15日(水)に、稚内総合文化センター小ホールで開催し、報告書の作成を行った。</p> <p>なお、調査研究した教科書見本本の発行者(略称)は、東書、大日本、大修館、学研の4者である。</p> <p>2 調査研究の観点</p> <p>調査研究の観点は次のとおりである。</p> <p>(1) 「取扱い内容」について</p> <p>(2) 「内容の構成・排列・分量等」について</p> <p>(3) 「使用上の配慮等」について</p> <p>(4) 「その他」について</p>	
調査研究に当たった際の配慮事項	<p>次の点に配慮して調査研究を進めた。</p> <p>1 「取扱内容」について</p> <p>(1) 学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等に基づいて取り上げられているか。</p> <p>(2) 知識・技能の習得、活用、探究に対応できるよう、既に学習した内容の系統的な反復学習や練習問題などによる繰り返し学習に関する内容、観察・実験やレポートの作成に関する内容、他教科との関連する内容、補充的な学習や発展的な学習に関する内容などがどのように取り扱われているか。</p> <p>2 「内容の構成・排列・分量等」について</p> <p>(1) 内容の構成・排列が、地域の実態や学年の発達の段階等に応じて、系統的・発展的に組織されているか。</p> <p>(2) 内容の分量が、各分野や各領域等ごと、全体としてどのようになっているか。</p> <p>3 「使用上の配慮等」について</p> <p>(1) 生徒の学習意欲を高める工夫がされているか。</p> <p>(2) 自ら課題解決に取り組み、主体的に学習に取り組めるよう工夫されているか。</p> <p>(3) 目次、索引、注、諸表など、使用上の便宜は図られているか。</p> <p>4 「その他」について</p> <p>上記1～3に含まれないもので、全体を通じて特色があれば記載する。</p>	
少数意見その他		

様式2

教科名	保健体育		
	出版社名	教科書名	番号
	東書	新編 新しい保健体育	保体・725
取扱内容	<p>○ 保健分野については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「心身の機能の発達と心の健康」については、異性に対して求めることをチェックしたり、ストレスに適切に対処する方法について考えたりする活動を通して、心身の機能の発達と心の健康の理解を深める。 ・「健康と環境」については、部屋の空気が汚れているときの状況を発表し合ったり、水道普及率と水による感染症患者数の変化の理由を考えたりする活動を通して、健康と環境の理解を深める。 ・「傷害の防止」については、地震が起きたときの一次災害や二次災害を話し合ったり、夜間における犯罪被害の危険を予測したりする活動を通して、傷害の防止の理解を深める。 ・「健康な生活と疾病の予防」については、健康診断を受ける意義について話し合ったり、薬物の使用を思いとどまらせるための説得の方法を考えたりする活動を通して、健康な生活と疾病の予防の理解を深める。 <p>○ 体育分野については、互いに楽しむために相手が納得できるようなルール変更を提案し合ったり、自分や友達の実験や資料をもとに、けがをしやすい部位を考えたりする活動を通して、運動やスポーツが心身に与える効果と安全の理解を深めるなど、目標を達成できるようになっている。</p> <p>○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健分野において、危険を避け、安全を確保するために、それぞれの自然災害の危険を知り、事前の備えや避難の方法を考える活動 ・体育分野において、オリンピックに参加した選手数の推移や女性の参加に関する歴史、開催都市の変化を考える活動 		
内容の構成・排列・分量等	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健分野において、小学校で学習した思春期の体の変化を振り返る学習の後に、ホルモンの働きや生殖機能の発達を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 ・体育分野において、第1学年で学習した運動やスポーツの必要性を踏まえ、体力向上や運動技能の維持・向上、各器官の機能の発達を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 <p>○ 内容の分量については、保健分野については129ページで前回より約7%増、体育分野については44ページで前回より約26%増、総ページ数は173ページで前回より約11%増となっている。(B5判からAB版に変更)</p>		
使用上の配慮等	<p>○ 章末資料として、助産師やスポーツ選手のメッセージを掲載したり、学習を深める「読み物」や「保健体育クイズ」を掲載したりするなど、生徒の学習意欲を高めるような工夫がなされている。</p> <p>○ 「やってみよう」、「生かそう」において、学習課題を提示したり、学習のヒントやポイントを伝えるキャラクターを掲載したりするなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 巻頭でブレインストーミングやロールプレイングなどの学習方法や留意点を掲載したり、一単位時間の学習内容のキーワードや解説を掲載したりするなど、使用上の便宜が図られている。</p> <p>○ 全ての生徒が学習しやすいよう、判読しやすいフォントにするなど工夫がなされている。</p>		
その他			

様式2

教科名	保健体育		
	出版社名	教科書名	番号
	大日本	新版 中学校保健体育	保体・726
取扱内容	<p>○ 保健分野については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「心身の機能の発達と心の健康」については、異性に対する尊重した接し方を考えたり、見方を変えて前向きに取り組む計画を立てたりする活動を通して、心身の機能の発達と心の健康の理解を深める。 ・「健康と環境」については、暑いなかで運動するときに気を付けることをまとめたり、学習内容を踏まえ一酸化炭素中毒の事故を防ぐ方法を考えたりする活動を通して、健康と環境の理解を深める。 ・「傷害の防止」については、住んでいる地域で起こりやすい自然災害について考えたり、様々な外傷の応急手当の方法を実習したりする活動を通して、傷害の防止の理解を深める。 ・「健康な生活と疾病の予防」については、運動不足の影響や運動の効果などを考えたり、飲酒や薬物乱用の明確な断り方について実習したりする活動を通して、健康な生活と疾病の予防の理解を深める。 <p>○ 体育分野については、運動やスポーツが行われるために必要な様々な人々の関わり方を考えたり、いろいろな運動やスポーツにおける技術や作戦・戦術をそれぞれまとめたりする活動を通して、運動やスポーツの多様性の理解を深めるなど、目標を達成できるようになっている。</p> <p>○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健分野において、夜間における危険な場所や要因、危険をさける行動など、犯罪被害の防止方法を考える活動 ・体育分野において、新体力テストの結果を参考にして、高めたい体力に応じた運動やスポーツの計画を立てる活動 		
内容の構成・排列・分量等	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健分野において、小学校で学習した男女の身長伸び方の特徴を振り返る学習の後に、中学生の時期の第2発育急進期を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 ・体育分野において、第1学年で学習した運動やスポーツの必要性和楽しさを踏まえ、豊かな人生を送り、よりよく生きる文化としてのスポーツの重要性を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 <p>○ 内容の分量については、保健分野については113ページで前回より約8%増、体育分野については46ページで前回より約10%減、総ページ数は159ページで前回より約2%増となっている。</p>		
使用上の配慮等	<p>○ 知識を深める関連資料を章末資料として掲載したり、学習内容に関連した「トピックス」を掲載したりするなど、生徒の学習意欲を高めるような工夫がなされている。</p> <p>○ 「考えよう」、「学習を活かして」において学習方法を提示したり、学習内容に関連するページを「リンク」として掲載したりするなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 各章の最初のページに学習の課題や見通しをもつための学習の流れを掲載したり、けがを防止するためのポイントを「注意」マークで提示したりするなど、使用上の便宜が図られている。</p> <p>○ 全ての生徒が学習しやすいよう、判読しやすいフォントにするなど工夫がなされている。</p>		
その他			

様式 2

教科名	保健体育		
	出版社名	教科書名	番号
	大修館	保健体育	保体・727
取 扱 内 容	<p>○ 保健分野については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「心身の機能の発達と心の健康」については、年齢による身長の変化について考えたり、成功の経験を通して育まれた自分らしさを話し合ったりする活動を通して、心身の機能の発達と心の健康の理解を深める。 ・「健康と環境」については、環境が健康に悪影響を及ぼしている身近な例を挙げたり、井戸水の汚染があった場合の健康上の影響を話し合ったりする活動を通して、健康と環境の理解を深める。 ・「傷害の防止」については、倒れている人を見つけたときの適切な行動を考えたり、自分と家族のための防災計画を立てたりする活動を通して、傷害の防止の理解を深める。 ・「健康な生活と疾病の予防」については、たばこの広告のイメージなどを考えたり、薬物の害について話し合ったりする活動を通して、健康な生活と疾病の予防の理解を深める。 <p>○ 体育分野については、安静時の自分とマラソンランナーの心拍数の違いについて考えたり、野外活動を安全に行うために、行動ごとの危険な状況を予測したりする活動を通して、運動やスポーツが心身に与える効果と安全の理解を深めるなど、目標を達成できるようになっている。</p> <p>○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健分野において、特定の食物による食物アレルギーの症状やアドレナリン自己注射薬の使い方など応急手当の仕方を考える活動 ・体育分野において、種目を決め、仲間を思いやりながら協力して、誰もが納得して楽しめるルールをつくる活動 		
内 容 の 構 成 ・ 排 列 ・ 分 量 等	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健分野において、第1学年体育分野で学習した運動やスポーツの効果を振り返る学習の後に、運動不足の影響や運動と心の健康などを取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 ・体育分野において、第1学年で学習した運動やスポーツの学び方を踏まえ、達成感や意欲の向上などの運動やスポーツの心への効果を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 <p>○ 内容の分量については、保健分野については123ページで前回より約14%増、体育分野については42ページで前回より約19%減、総ページ数は165ページで前回より約3%増となっている。</p>		
使 用 上 の 配 慮 等	<p>○ 各単元の初めに学習の動機付けとなる発問を掲載したり、欄外に、その項目に関連したインターネットページを掲載したりするなど、生徒の学習意欲を高めるような工夫がなされている。</p> <p>○ 「Try」、「Challenge」において、学習課題を提示したり、各章の最後に「学習のまとめ」のページを掲載したりするなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 巻頭で学習の流れやマークの解説を示した教科書の使い方や学習の方法を掲載したり、図版の中の大事なポイントを吹き出しにして示したりするなど、使用上の便宜が図られている。</p> <p>○ 全ての生徒が学習しやすいよう、判読しやすいフォントにするなど工夫がなされている。</p>		
そ の 他			

様式2

教科名	保健体育		
	出版社名	教科書名	番号
	学研	新・中学保健体育	保体・728
取 扱 内 容	<p>○ 保健分野については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「心身の機能の発達と心の健康」については、望ましい発育・発達に必要なことを話し合ったり、自分の気持ちを上手に伝える言葉や表情を考えたりする活動を通して、心身の機能の発達と心の健康の理解を深める。 ・「健康と環境」については、人間の適応能力を超えた環境の例を挙げたり、身近な環境である校内の色々な場所の照度を測定したりする活動を通して、健康と環境の理解を深める。 ・「傷害の防止」については、日常生活の様々な場面における危険の要因を予測したり、けが人を発見した場合に通報する実習をしたりする活動を通して、傷害の防止の理解を深める。 ・「健康な生活と疾病の予防」については、1日の食生活例をもとに改善方法を考えたり、たばこや酒、薬物を誘われたときの断り方を話し合ったりする活動を通して、健康な生活と疾病の予防の理解を深める。 <p>○ 体育分野については、バスケットボールにおける課題を解決する別の練習方法を考えたり、オリンピック・パラリンピックに対する自分なりのかかわり方を発表し合ったりする活動を通して、運動やスポーツの多様性の理解を深めるなど、目標を達成できるようになっている。</p> <p>○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健分野において、インターネットの使用について、長時間の使用による疲労やインターネット依存による悪影響を調べる活動 ・体育分野において、スポーツが環境に及ぼす影響や環境の変化がスポーツに及ぼす影響について調べる活動 		
内 容 の 構 成 ・ 排 列 ・ 分 量 等	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健分野において、小学校の社会科で学習した公害の原因を振り返る学習の後に、汚染物質と健康の影響や対策を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 ・体育分野において、第1学年で学習したスポーツへの多様なかかわり方を踏まえ、伸びやかな自己開発の機会などのスポーツの文化的な意義を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 <p>○ 内容の分量については、保健分野については132ページで前回より約23%増、体育分野については51ページで前回より約31%増、総ページ数は179ページで前回より約23%増となっている。</p>		
使 用 上 の 配 慮 等	<p>○ 各章の扉で、学習内容に関連した職業や資格などを掲載したり、学習内容に関連した「コラム」を掲載したりするなど、生徒の学習意欲を高めるような工夫がなされている。</p> <p>○ 「ウォームアップ」、「探究」において、学習課題を提示したり、「活用しよう」で生活と結び付いた活動を提示したりするなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 巻頭で目標及び活動の内容など、一単位時間の学習の流れや学習方法を掲載したり、実習や協働学習など学習活動の種類を掲載したりするなど、使用上の便宜が図られている。</p> <p>○ 全ての生徒が学習しやすいよう、判読しやすい図表や配色にするなど工夫がなされている。</p>		
そ の 他			

